

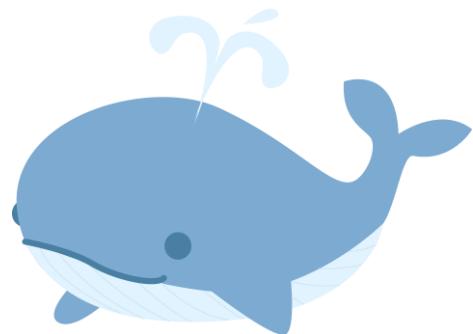


北海道大学 ホームカミングデー2015

水産学部卒業生のつどい



講 演 会



鯨類が目指す二つの道 ～付録：混迷化する国際捕鯨情勢～

講師：加藤 秀弘 氏（東京海洋大学教授）

日時：平成27年9月26日（土）14:00～15:30

場所：百年記念会館 大会議室（参加申込不要）

◇プロフィール



東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科 教授。鯨類学研究室担当。
1952年生まれ。1975年北海道大学水産学部水産増殖学科卒業後、同大学院水産学研究科、旧（財）鯨類研究所、水産庁遠洋水産研究所鯨類生態研究室室長等を経て、2005年8月より現職。海洋環境学部門海洋生物学講座鯨類学研究室担当。シロナガスクジラ等大型鯨類の資源生態を専門とし、とくに環境変動に伴う鯨類の生活史変動と個体群調節機能の解明に取り組んできた。クロミンククジラの個体群動態研究で1999年度科学技術庁長官賞受賞。水産学博士。IWC科学委員会委員および同委員会政府派遣首席科学者、IUCN鯨類専門グループ委員、PICES海鳥海獣諮問委員会議長など歴任。主な著書に『ニタリクジラの自然誌』（第11回高知出版学術賞受賞）『マッコウクジラの自然誌』、『鯨類資源の研究と管理』、『鯨類資源の持続的利用は可能か』、『鯨類海産哺乳類学』など。尚、SF小説『鯨の王』では主人公鯨類学者のモデルとなった。

- 講演会終了後、同窓生との懇談会（30分程度）を開催する予定です。

学生諸君は、貴重な話しが聞ける機会です。積極的にご参加ください。

◇会場案内図

